

様式IV-2 新技術活用計画書・実施報告書

作成:2018年3月13日

新技術名称	コンクリート表面含浸工法【シッカリート】			NETIS番号	CB-150007-A
比較する従来技術	セメントモルタル材				
整備局名	中部地方整備局	事務所名	木曾川上流河川事務所	受注者名	〇〇建設株式会社
工事名	平成〇〇年度〇〇分室建築工事			契約額(円)	98,280,000
活用等の型	試行申請型(発注者指定) 試行申請型(契約後提案) 発注者指定型 施工者希望型(契約前提案) *施工者希望型(契約後提案) フィールド提供型 テーマ設定型(技術公募)				
工事期間	~2018年12月27日	新技術施工期間		2018年8月1日~2018年11月30日	
施工場所	〇〇県〇〇郡〇〇町〇〇				
施工概要	内容	〇〇分室新築工事 鉄骨造 2階建て 延べ床面積231㎡ 上記、本工事において、型枠を使用しないコンクリート表層部分の撥水化を目的としたシッカリート吸水防止用(シラン系)を使用します。又、前工程において、コンクリート内部の緻密化を目的としたシッカリート改質用(カリウムを主成分としたけい酸塩系表面含浸材)を使用します。			
	対象数量	屋上面積 106㎡ 車庫土間面積 50㎡			
	新技術使用箇所	屋上の防水保護コンクリート部分の1/2 に使用(約53㎡) 車庫の床直均し部分の1/2 に使用(約25㎡)			
	現場施工条件	現場条件	周辺状況(病院、学校、鉄塔の有無等)	自然環境(騒音、振動、水質等)	
		①シッカリート改質用(ケイ酸塩系)は、コンクリート表面温度が5℃以上40℃以下 ②シッカリート吸水防止用(シラン系)は、気温が3℃以上40℃以下 ③降雨、降雪、強風時は施工不可	特になし。	特になし。	
施工上で重大な障害や問題が生じたか。	*無有	障害の内容	作業環境	*陸上作業 地下作業 高所作業 水上作業 水中作業	
活用理	項目	活用理由の該当項目にチェック	コメント		
	経済性	*	材料費が安く、作業工程が少ないため、コスト縮減につながるため。		
	工程	*	工程が少ないため、工期を短縮できるため。		
	品質・出来形	*	コンクリート打設後の乾燥収縮ひび割れを抑制し、コンクリート劣化要因等の侵入を防ぐため。		
	安全性				

由	施工性	*	簡易的な連続の塗布作業の為、作業性が向上するため。
	環境	*	将来改修時に被膜を除去する事がなく、廃棄物を出さないで再施工できる為。
	その他(コンクリートの止水対策)	*	カリウムが主成分のけい酸塩表面含浸材であるので、表面近くをより緻密化することで止水効果が得られる。又、吸水防止用(シラン系)を併用しており、防汚対策効果が得られるため。
	その他()		